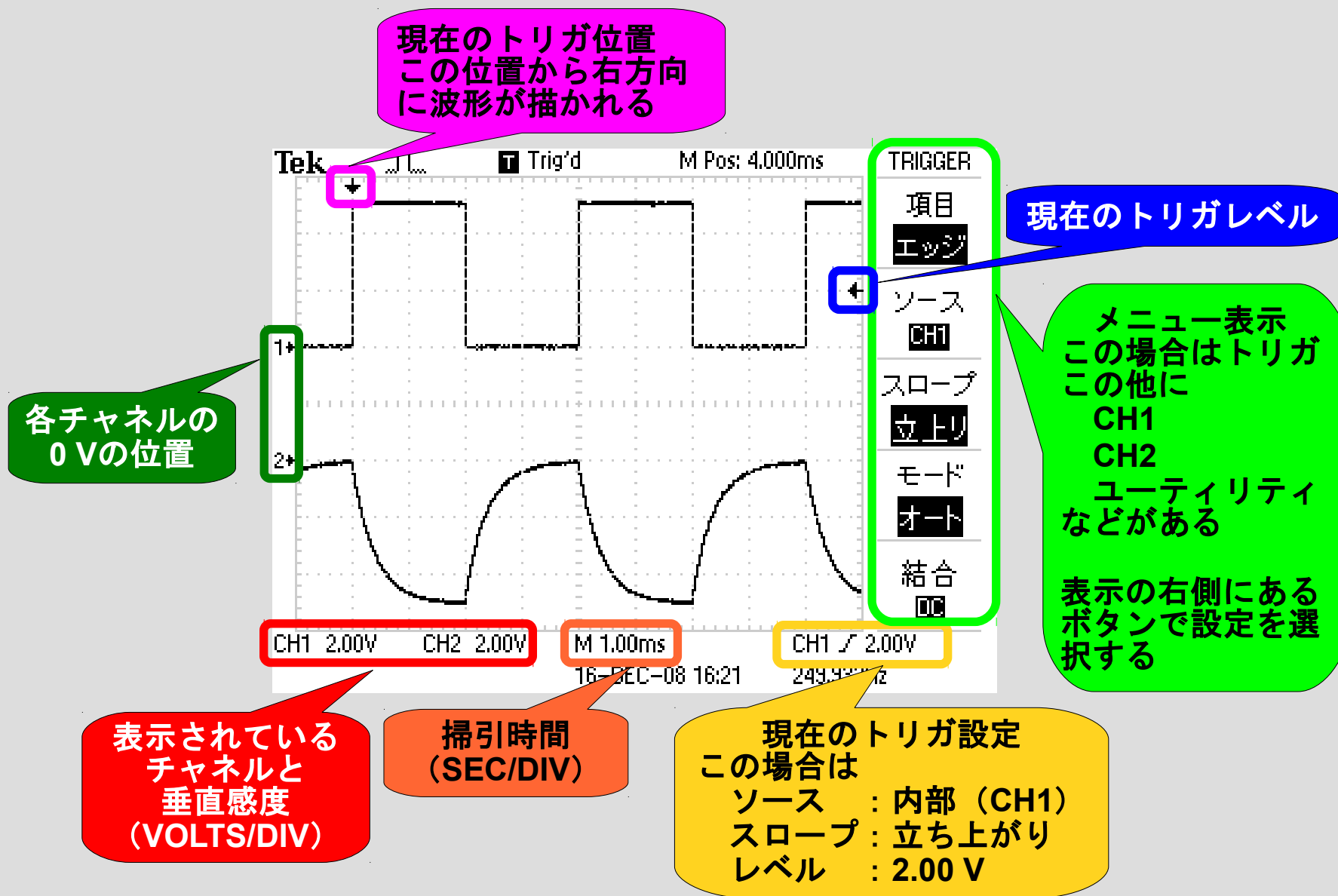


# TDS 1002Bの各種設定



# 画面表示のまとめ



# トリガ

(2) ソース, スロープ, モードの設定

(3) LEVEL  
トリガレベルを設定する

(1) TRIG MENU  
メニューを表示させる

正弦波交流の観測 : 0 V  
それ以外 : 最大値と最小値の平均

項目  
**エッジ**

通常 : エッジ

ソース  
**CH1**

通常 : CH1またはCH2  
商用電源に同期 : ライン

スロープ  
**立上り**

立上りまたは立下り

モード  
**オート**

周期的な波形の観測 : オート  
それ以外 : ノーマルまたはシングル

結合  
**DC**

通常 : DC

CH1 / 2.00V

# 垂直軸（CH1を例として）

(2)入力結合および  
プローブ減衰率の設定

(1)CH1 MENU  
メニューを  
表示させる

波形の表示／非表示の  
切り替えを兼ねる

(4)POSITION  
表示される波形の  
0 Vの位置を  
設定する

(3)VOLTS/DIV  
縦軸1目盛当たりの  
電圧値を設定する

観測信号の直流分を  
除いて表示

結合  
DC

正弦波交流の観測：AC  
それ以外：DC

帯域  
Full

通常：Full

Volts/Div  
ステップ

通常：ステップ

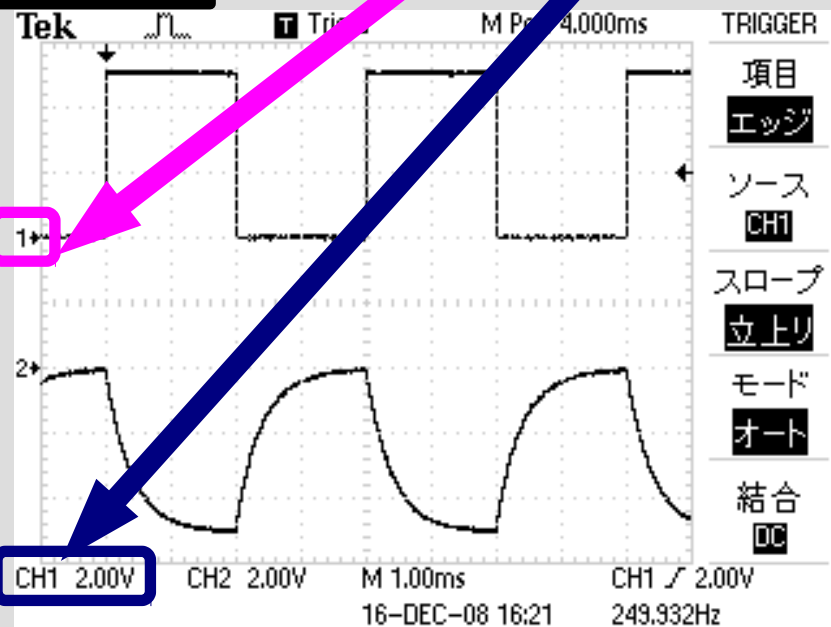
プローブ  
10×

プローブの減衰比切替  
スイッチの設定に合わせる

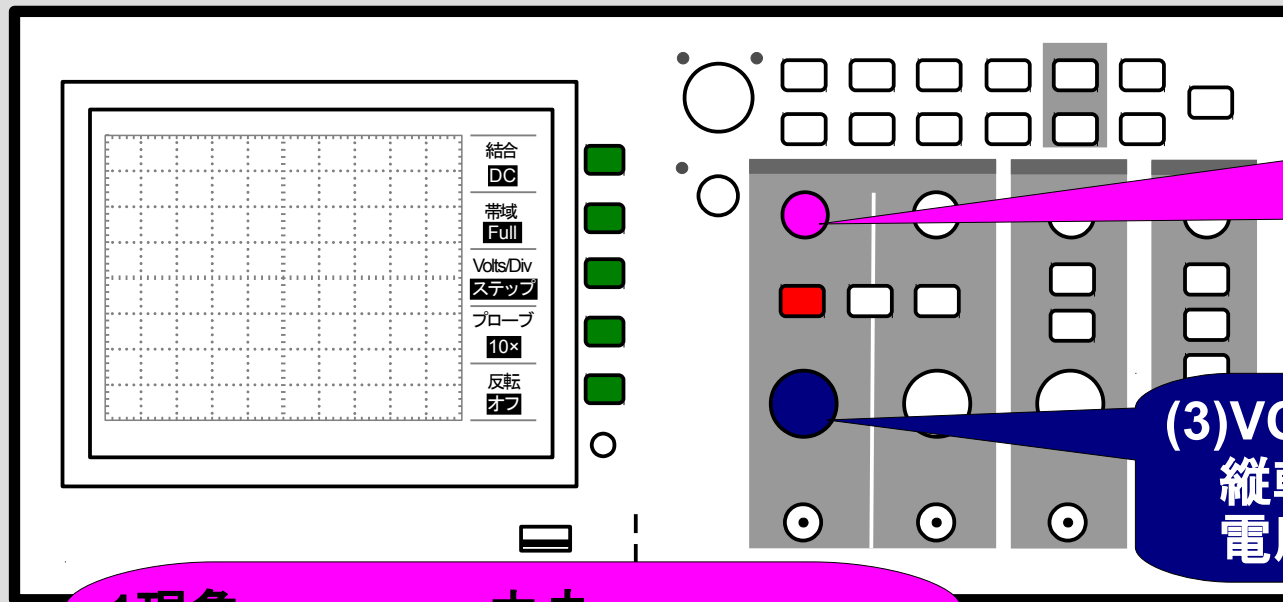
反転  
オフ

通常：オフ

観測信号を  
そのまま表示



# 垂直軸の詳細 (CH1を例として)

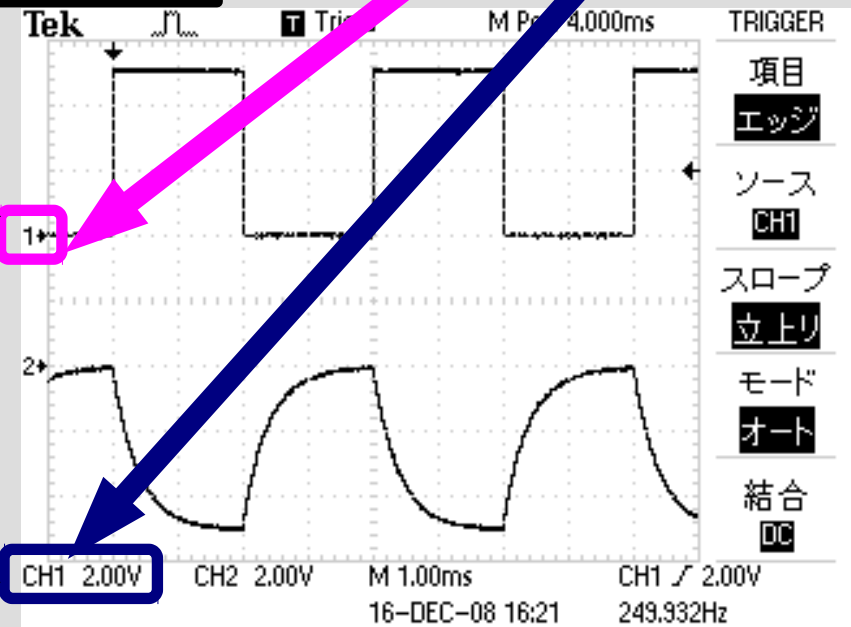


(4) POSITION  
表示される波形の  
0 Vの位置を  
設定する

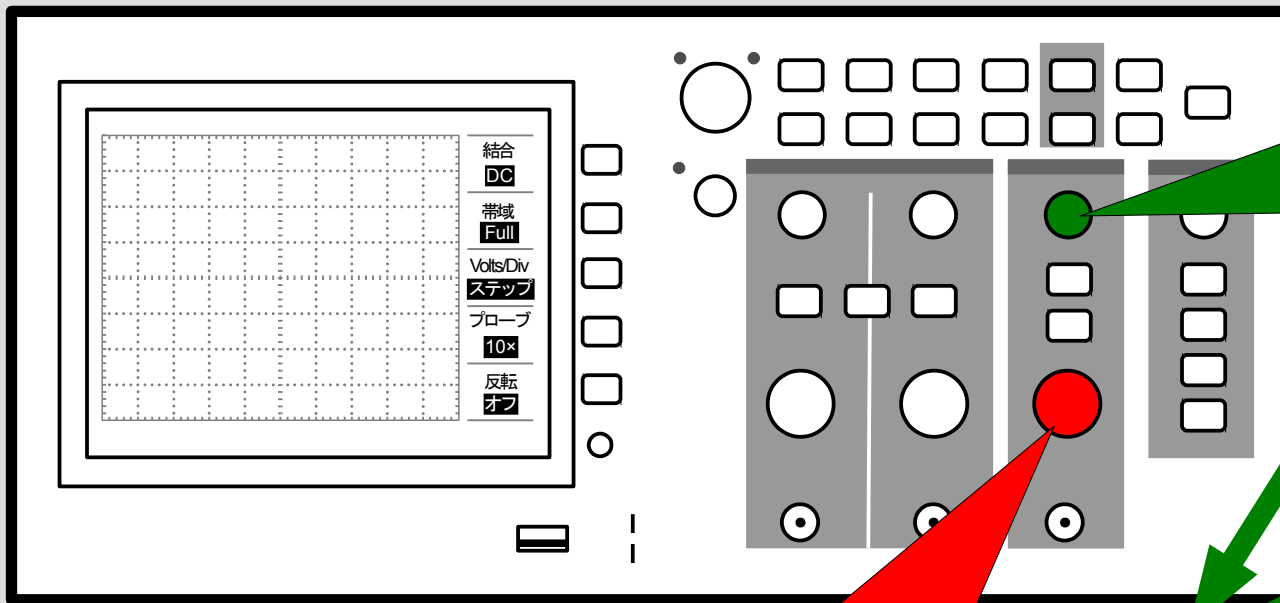
(3) VOLTS/DIV  
縦軸1目盛当たりの  
電圧値を設定する

1現象 : 中央  
2現象(正弦波交流) : 中央  
2現象(その他) : 2つの波形が重な  
らないようにする

1現象 : 波形がなるべく  
大きく表示される  
ようにする  
2現象(正弦波交流) : 1現象に同じ  
2現象(その他) : 2つの波形が重な  
らないようにする



# 水平軸



## (2) POSITION

トリガ位置（波形の描き始めの位置）を設定する

→表示位置の調整

画面内に表示されるようにする

## (1) SEC/DIV

横軸1目盛当たりの時間を設定する

最も周期の長い信号が1.5~2周期程度表示されるようにする

